

富岡文部科学大臣政務官による土曜日学習会



中学1, 2年生を前に特別講義を行う富岡政務官

3月22日(土)、富岡文部科学大臣政務官が対馬市立佐須中学校で教壇に立ち、中学1, 2年生28人を前に、iPS細胞など再生医療をテーマとした「特別講義」を行いました。文部科学省では、官民の連携による土曜日教育ボランティア運動など、「土曜日の教育活動推進プロジェクト」を推進しており、この学習会はその一環として行われたものです。これまで下村大臣、上野政務官、西川副大臣がそれぞれ小学校で土曜日学習会を実施しています。

富岡政務官は、医学博士であり、専門の医療分野について、生徒たちにわかりやすく、身振り、手振りを交えて、熱のこもった講義を行い、「ほんの2, 30年前までは、心臓の筋肉や神経細胞などは、再生しない細胞である、と教えられていた。ノーベル賞を受賞した山中教授のiPS細胞などを活用した再生医療によって、今まで治せなかった病気やけがが治せるようになるかもしれない。これも先人の研究者が一生懸命勉強して、研究をしたから。ぜひ君たちも先人の思いを受け継いでこの新しい技術を育てていって欲しい。」と語りかけました。



地域の方々の協力による「つしま蒙古太鼓」の練習風景



学校・地域の方々との意見交換会

生徒たちは、初めて聞く興味深い話を真剣な表情で聞き入りながら、時折交えられる富岡政務官のユーモア溢れる語り口に、笑い声の絶えない楽しい学習会となりました。

学習会終了後、富岡政務官は、地域の方々の協力による生徒たちの「つしま蒙古太鼓」の練習風景を視察した後、佐須中学校と学校を支える地域の方々、長崎県及び対馬市教育委員会が参加する意見交換会に出席し、これまでの学校や地域の取り組みについての説明を受け、学校・家庭・地域の連携による青少年の健全育成について、熱心な意見交換が行われました。

土曜日の教育活動推進プロジェクト

地域や企業の協力を得て、子供たちの土曜日の豊かな教育環境の実現に向けた取組を推進するプロジェクト（平成25年11月発表）。

- ①設置者の判断により、土曜授業を行うことが可能であることをより明確化するため、学校教育法施行規則を一部改正
- ②官民連携により、多様な賛同企業・団体の協力による応援団を組織して、出前授業等を行っていく「土曜日教育 ボランティア運動」を推進
- ③学校における質の高い土曜授業の推進のための「土曜授業推進事業」や、地域社会や産業界と連携した土曜日の教育活動の充実のための「地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業」を平成26年度より新たに実施。

- 土曜日の教育活動推進プロジェクトについて → http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doyou/index.htm
- 学校・家庭・地域の連携について → <http://manabi-mirai.mext.go.jp/>

